

平成27年度 事業報告

社会福祉法人 やまなみ会

阿蘇くんわの里

多機能事業所阿蘇くんわの里

グループホームくんわ

阿蘇くんわの里事業報告 目次

I、はじめに

II、全体状況

- 1、利用者状況
- 2、経営状況
- 3、職員状況
- 4、施設整備状況
- 5、実習受入
- 6、行事

III、部門別活動状況

- 1、生活介護事業
- 2、生活訓練事業
- 3、施設入所支援生活訓練事業
- 4、短期入所支援生活訓練事業
- 5、就労移行支援事業
- 6、就労継続支援B型
- 7、医務部門
- 8、給食部門
- 9、防災関係
- 10、外部サービス利用型共同生活援助事業

阿蘇くわの里事業報告書

I、はじめに

阿蘇くわの里は、重度化・加齢による能力低下等の課題に向けた支援体制の強化のため、日中事業の生活介護、自立訓練、就労継続B型、就労移行支援の各セクションのリーダーを指名し、職員の育成を通して日課マニュアルの徹底を図り「体制づくり」を目的とし、年間通して職員全体で活動を進めることにより職員の資質の向上や支援体制の強化に努め、各事業において法人理念「共に支え、共に生きる」に基づき利用者主体・個人の尊厳を基本とし多様化するニーズ・ライフスタイルを的確にとらえた福祉サービスの提供に取り組んだ。

生活介護事業においては現定員25名から今年度30名への定員増を行った。就労継続支援事業B型では、阿蘇山の噴火の影響等で馬油製品の製造・販売に影響はあったものの下請け班及び実習班の拡充に努めた結果、売り上げを前年度対比17%アップできた。本年度目標平均工賃額 24,000 円を達成することができた。

(昨年度工賃額 20,000 円)

就労移行支援事業では、現状の雇用環境は厳しい状況にあるが、当施設の就労支援への取り組みや障害者の理解を頂き、実習を通じて社会的マナーの習得及び技術の向上取り組んだが、就労までは至らず就労継続B型に 2 人移行した。更に企業の開拓と利用者の支援の充実を図り、今後も実績拡大に向け雇用事業所との連携図りながら、障害者の定着支援に力を入れていきたい。

共同生活援助事業では、利用者のニーズの変化に応じ個々の福祉サービス提供に努め地域生活支援に取り組んだ。また、法人敷地外にグループホーム「くろかわ」を新設し、利用希望者のニーズに対応したが、定員を満たしていない状況である。現在は利用者の増加に努めている。

生活困窮者レスキュー事業は、地域公益活動として今年度から生活困難な者に地域生活での自立した生活に繋げるための経済的支援をした、対象者 10 人、就労に繋がった者は 2 人であった。経済的にまた年齢的に厳しい方の相談が多く、今の社会情勢を反映するものであった。

II、全体状況

●利用者状況(平成28年3月末日現在)

利用者状況については、利用者確保のため、支援学校・病院・家庭からの体験利用を積極的に行い、利用者確保に取り組んだ。特に精神との重複障害の方の生活介護事業及び入所支援事業への利用ニーズが高いと感じた。近年は利用者の年齢が幅広く、また重度者比率が高くなり支援の多様性が求められたが、新採用の職員が多かったことで十分な支援になっていなかったため、ささえる会の会員の方からの苦情が聞かれた。しかし日課を見直し、午前の作業、体操、また余暇活動等の実施、日課表の書式変更により利用者の把握に努め、年度初めに比べ職員の意識向上、技術向上が図られているものと思われる。今年度の事業の利用状況は以下のとおりです。

	サービスの種類	定員	26年度 利用登録者数	27年度 利用登録者数	増減
日 中 活 動 系	生活介護	30名	36名	38名	2名↑
	自立訓練(生活訓練)	10名	1名	2名	1名↑
	就労継続支援(B型)	29名	32名	30名	2名↓
	就労移行支援	10名	3名	3名	0名
居 住 系	施設入所支援	40名	33名	35名	2名↑
	短期入所支援	1名	3名	3名	0名
	グループホーム	60名	51名	52名	1名↑

●職員の状況

① 会議の開催

全職員に対する施設の基本方針及び、重要案件の確認、周知徹底について部署代表者による運営会議・全職員による職員会議を月1回開催。各部署により各支援会議、給食運営会議等を随時開催した。

② 職員研修

施設内外への積極的参加を促し、研修結果を職員会議等の場において報告し、参加できなかった職員への情報提供及び周知徹底を行った。

今年度は、新たな職員を多く任用したこともあり、福祉サービスに必要な支援知識及び障害者支援に対する人権問題、虐待等を含め利用者への対応をあり方の研修を実施し職員の資質向上に取り組んだ。また新人研修プログラムとして法人内他事業所の実習を取り入れたことは法人内事業の周知を図る上で役立ったと思う。

●施設整備等の状況

- ① 身障トイレの設置及び利用者出入口スロープ、手すり及びスライドドアの設置を実施。
- ② 1階支援員室の改修工事(カウンター等の整備)
- ③ 生活介護事業のための作業棟を設置(運動場にあるプレハブを移動)
- ④ 管理棟のクロス張替

- ⑤ 利用者の高齢化、障害の重度化を含めた今後を見据えて、利便性・安全対策として実施

●実習受入状況

波野中学校 職場体験実習	4名
小国支援学校 職場体験実習	3名
大津支援学校 職場体験実習	2名
尚綱大学短期大学部幼児教育学科 施設実習	1名
湖東カレッジ福祉専門学校 施設実習	1名

●27年度実施行事

日付		行事	参加利用者	場所
4月	1日	新年度体制説明会	全利用者	第2工場
4月	25日	春まつり	全利用者	グラウンド
5月	17日	障害者スポーツ大会	希望利用者	うまかなよかなスタジアム
7月	4日	きらめき大会	全利用者	小国ドーム
7月	18日	夏祭り	全利用者	くんわの里 グラウンド
10月	5日	ホッケー九州大会	希望利用者	熊本市総合体育館
11月	16日 17日	利用者旅行	施設入所利用	佐世保方面
12月	13日	餅つき会	全利用者	施設内
1月	9日	どんどや	全利用者	グラウンド

Ⅲ、部門別活動状況

●生活介護事業報告(定員30名)

【利用状況】(平成28年3月31日現在)

定員:30名 現員:37名 (男性24名 女性13名)

利用者の区分状況 (平成28年3月31日現在)(カッコ内は前年比)

平均区分4.0(+0.03)

	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	1名 (±0)	6名 (±0)	9名 (+1)	5名 (-1)	3名 (+1)	24名 (+1)
女性	— (±0)	6名 (±1)	5名 (±0)	1名 (±0)	1名 (±0)	13名 (±0)
計	1名 (±0)	12名 (±0)	14名 (+1)	6名 (-1)	4名 (+1)	37名 (+1)

利用者の希望状況(カッコ内は前年比)

	現員数	作業をしたい	楽しみを増やしたい
男性	24名(+1)	12名(+4)	12名(-9)
女性	13名(±0)	8名(+4)	5名(-6)
計	37名(+1)	20名(+8)	17名(-15)

【サービスの取り組みと課題点】

・作業場の新設

前年度までの作業意欲の低下の原因として、従来の作業場までが遠く感じ、行きたくないことが挙げられていたため、居室棟の裏に生活介護事業の作業場を新設、9時にラジオ体操をして体をほぐし、心を切り替え作業への意欲を高めることで、作業参加が増えていった。しかし、フルーツネット曲げや熊・鯉のエサの袋詰めと言った作業は売り上げが上がり、工賃額に反映しにくく、作業をがんばったのに工賃が上がらないとの不満の声も上がっているため、今後は本事業での作業開拓が求められる。

・生活面と一体での支援

施設入所支援と合わせて、生活介護事業の中で病院受診や看護師による健康管理、入浴や整容、洗濯や居室清掃といった生活支援、カロリー管理や成人病予防メニューといった食事支援など全利用者にサービスが行き届くよう支援を進めていった。

一方、他部署との連携が不十分なところから、利用者の小遣い管理やカロリー管理に行き届かないことがあったため、来年度は組織や管理方法の見直しを図りたい。

・新規利用者の受け入れ

今年度も4名の新規利用者を受け入れ、精神疾患への配慮や本人もしくはは家族のニーズを受け、新しい生活が安定するよう支援を行った。また、昨年度新規に入所した利用者の新たな課題点が次々と出てきたため、支援員の充足を行いその対応にあてていった。課題点の多い利用者には支援が偏った面が見られたことから、来年度は前利用者には十分な支援が行き渡れるよう支援方法の見直しを図りたい。

・活動内容の拡大

午後の時間の多くを入浴と洗濯支援に費やした1年だったが、今後は作業時間の拡大や、レクレーションや創作活動など計画的に午後の活動を確立できるようにしていきたい。

●生活訓練事業

【利用状況】(平成28年3月31日現在)

定員:10名 現員:2名 (男性1名 女性1名)

【サービスの取り組みと課題点】

昨年度からさらに精神科退院後の利用が1名あった。

継続利用の利用者は来年度支給期間終了を機会に就労継続支援B型事業を目指し、新規利用者も退院後施設の生活に慣れ、生活面で心配なことが改善されれば、GHと就労継続支援B型を目指したいとの意向を示しているため、プログラムを作業能力の向上にポイントを絞り、集中力や協調性、「働く」目的さがし、精神面の自己コントロールの訓練などを各々にあった方法やペースで進めていった。

また、一方で作業工賃に反映できるよう、施設内でスイーツの作成販売や、B型事業の自主商品のパッケージ作成を受けた。

今後も目標達成のために必要な訓練と作業の実施を行っていきたい。

●施設入所支援報告(定員40名)

利用者現員状況(カッコ内は前年比)

平成28年4月1日現在 現員数34名(+1)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	2名 (±0)	1名 (-1)	3名 (±0)	3名 (-1)	6名 (-2)	4名 (+1)	1名 (±0)	21名 (±0)
女性	1名 (±0)	2名 (±0)	2名 (+1)	2名 (-1)	2名 (+1)	2名 (-1)	3名 (+2)	14名 (+1)
計	3名 (±0)	3名 (-1)	5名 (+1)	5名 (-2)	8名 (-1)	6名 (±0)	4名 (+2)	34名 (+1)

利用者入退状況

	長期入院 精神科退院	事業所変更	在宅	GH移行	支援学校卒業後利用	合計
退所	—	—	—	3名	—	3名
入所	1名	2名	—	1名	—	4名

日中事業の利用状況

生活介護事業を利用	32名
就労移行支援事業を利用	2名

【サービスの取り組みと課題点】

- ・ 昨年度に引き続き精神科長期入院患者の入所希望、また、支援学校卒業後の入所希望のケース、今年度は宿泊型生活訓練事業からの入所希望を、見学や体験宿泊、担当者検討会議などを通して受け入れし、今年度は4名の新規入所者を迎えた。
一方で、同法人が新たなGHを新設したことで、GHへの移行希望が実現し、結果的に1名の増員であった。
- ・ 精神科退院者の受け入れがさらに増えたことで、居室棟からの飛び出し、利用者同士のトラブルへの対応に迫られた。また、家族への暴力により家族のもとで生活できないケースを受け入れたが、支援員や利用者への暴力が始まりその対応に苦慮した。これに対し、1F支援室及びDRの改築を行い、生活介護事業と合わせて支援員を充足させるだけでなく、施設入所の日課の習慣化を徹底し、職員の質の向上とけじめある支援体制の充実を図ることで、徐々に改善していている。
- ・ 今年度も一泊二日の利用者旅行を実施することができた。
天候に左右されたが、これまで経験したことがない経験もでき、思い出に残る旅行ができた。

●短期入所報告(定員1名)(平成28年3月末日現在)

一年間の利用延べ日数	95日間(+39)
利用者数	3名(+0)

【サービスの取り組みと課題点】

- ・ ショートステイの利用を通して、グループホームへの移行に踏み切れたケースがあり、今

後も自立に向けた支援として活用できるようにしていきたい。

- ・家族が安心して利用できるよう、入所利用者同様生活や健康面の支援を行い、今後のさらなる利用拡大を図る。

●医務事業報告

平成 28年度年間医務計画に基づき、体力の増進及び衛生管理の意識向上を図り、早期の疾病予防、感染予防の推進を図り心身の健康づくりを実施した。

『各医療機関への定期受診(1ヶ月～2ヶ月毎)』

- ・阿蘇やまなみ HP(1ヶ月毎)
- ・菊池有働 HP(1ヶ月毎)
- ・ピネル記念 HP(1ヶ月毎)
- ・国立菊池HP(1ヶ月毎)
- ・市原外科HP(1ヶ月毎)
- ・阿蘇医療センター(1・2ヶ月毎)
- ・熊本セントラルHP(2ヶ月毎)
- ・阿蘇温泉HP(1ヶ月毎)
- ・古嶋眼科(1ヶ月毎)

『身体測定』

毎月実施(身長・体重・血圧・脈拍 ※但し身長は4月 年1回)

『健康診断』

定期健康診断(年1回) 早期の疾病発見に努めた。

6月上旬 (GH・通所利用者は任意とし実費負担で対応)

検診の結果異常の認められた者は、速やかに精密検査を実施。

歯科検診(年1回)～年度末3月に実施

ボランティア等によるブラッシング指導の実施。

検診の結果治療の必要が認められた者は、速やかに治療処置を実施。

『感染予防』

施設内に手指消毒を設置<ビオシラビング>し感染予防(ノロウイルス、インフルエンザ)に努めた。

オゾン除菌・脱臭機にて園内の消毒の実施(毎月1回)

6月～食中毒に関するマニュアルの見直し・研修会の実施。

7月～熱中症予防に関するマニュアルの見直し・研修会の実施。

11月～インフルエンザ・ノロウイルス予防に関するマニュアルの見直し・研修会の実施

- ・インフルエンザ予防接種(職員・利用者 11月上旬)

- ・うがい、手洗い、マスク使用の遂行(職員・利用者 11月～3月迄)

●給食事業報告書

平成 27 年度の給食運営計画を基に行事食・嗜好調査等を実施し、利用者の満足度向上に努めた。特に上半期ではGW・お盆と長期休暇があり、園に残られる方にもその雰囲気味わって頂けるよう昼食時にはバーベキュー・バイキングを行った。また、個別対応は食札を設け腎臓食、エネルギー制限、刻み等を実施しており、その他細かな対応を利用者の状況や特性に応じて業務を行っている。衛生面については、毎月の検便と、定期的な拭き取り検査の実施を行っている。満足度調査に関しては、不満に感じている利用者の意見に特に耳を傾け、少しでもくんの里の食事に満足し、楽しんで食事をしていただけるかということに重点をおいて今後も給食づくりに努めていく。

○ 個別対応(延べ数)

1) 腎臓食(入所1名)

低たんぱくご飯や補助食として高カロリーゼリーを取り入れ、低たんぱく・高カロリー・塩分 5g程度の食事を提供している。

2) エネルギー制限、少なめ対応(入所 14 名、通所 5 名)

利用者によって主食・主菜を小盛りにて提供。

3) 刻み・一口大(入所 7 名、通所2名)

咀嚼状況に応じて対応。魚をほぐし、肉を刻み、野菜は茹でて食べやすくして提供。

4) お粥(入所 2 名)

通常 2 名だが、食欲不振時や本人の希望等でどなたにでも提供している。

5) 塩分控えめ(入所1名)

医師の指示により、塩分控えめの食事を提供している。汁物は具のみ、麺類のスープは少量、漬物類は控えることを徹底している。

6) アレルギー(通所1名)

7) 禁止食(入所2名、通所 1 名)

ブロッコリー、納豆などビタミンK及びクロレラの禁止

8) その他

① 箸が滑ってしまう方には割り箸

② 麺をうまく箸で食べられない方にはフォークやスプーン

③ 風邪で食欲がない方への対応食など、利用者の特性や状況によって様々な対応を行っている。

反省点

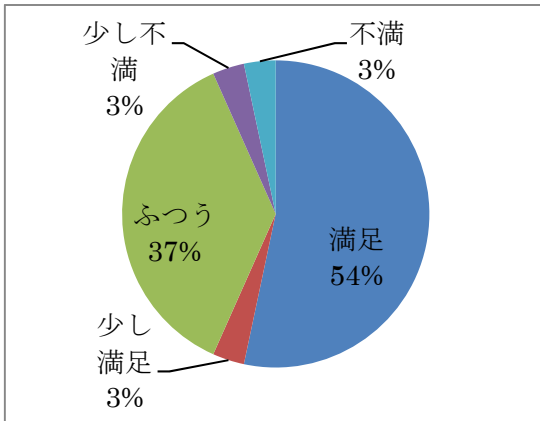
昨年の拭き取り検査の結果が思わしくなかった。、検査の時間が午後の洗浄中だった事も重なったが、菌を検出した事には変わりがないので、今後衛生面においても徹底的に拭き取りを行い、アルコールでの消毒をおこたらないよう従事するよう心掛ける。

平成27年度満足度調査(6月)

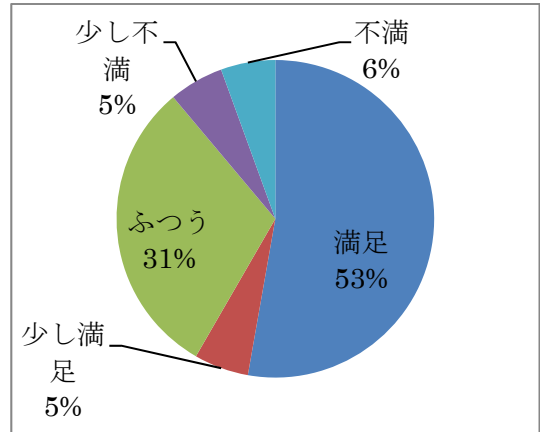
(満足 49%)+(少し満足 8%)+(ふつう 34%)=**91%**

嗜好調査時に食事の満足度を伺い、現在の給食に利用者にとどのくらい満足して頂けているかを調査した。

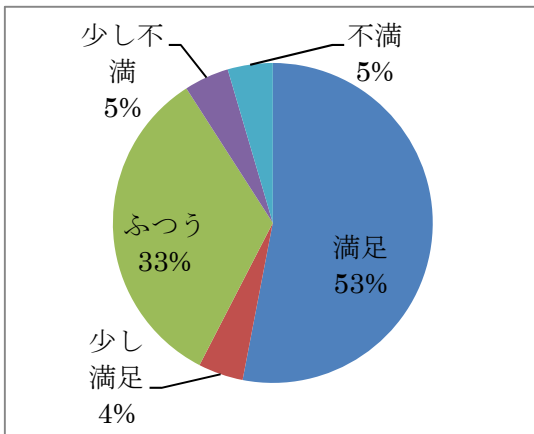
【入所】回答数 30



【通所】回答数 36



【全体平均】



昨年度は88%だったが、今年は目標の90%は超えることができた。しかし、利用者のご意見ご要望のなかにはしっかり改善していかなければならない点も多くあった為、今後ひとつひとつ検討していきたい。

【入所者の好きな食べ物ランキング】

- ① カレー
- ② 刺身
- ③ バーベキュー
- ④ ハンバーグ
- ⑤ お寿司

【通所者の好きな食べ物ランキング】

- ① カレー
- ② オムレツ
- ③ 唐揚げ
- ④ ラーメン
- ⑤ フルーツ系

【入所者の嫌いな食べ物ランキング】

- ① 豆類

【通所者の嫌いな食べ物ランキング】

- ① わかめ類

② トマトの料理

③ 野菜類

○年間実施スケジュール

② ばーちゃんメニュー

③ きのこと類

●防災訓練報告

月	日	実施事項
4	1	くんわの里設立記念メニュー(赤飯・唐揚げ・紅白まんじゅう等)
	13	第1回給食委員会
	24	セレクトメニュー(親子丼・とりそばろ丼)
	25	春祭り
5	1	端午の節句メニュー(チキンライス・エビフライ・かしわ餅等)
	6	バーベキュー
	22	セレクトメニュー(ミニたい焼き・わらび餅)
6	19	セレクトメニュー(炊込みごはん・三色丼)
		第1回嗜好調査
7	7	七夕メニュー(三色そうめん・七夕ゼリー)
	18	夏祭り
	24	土用丑の日メニュー(うな丼)
8	14	お楽しみバイキング
		セレクトメニュー
9	3	第1回給食委員会
	14	十五夜メニュー(月見そば・月見だんご)
10	5	第2回給食委員会
	8	秋のお弁当
	24	セレクトメニュー(肉うどん・山菜そば)
11	10	収穫祭(大学芋・焼きいも)
	20	セレクトメニュー(牛丼・豚玉丼)
12	13	もちつき会
	22	冬至メニュー(南瓜の煮物・柚子の和え物)
	24	クリスマスメニュー(ピラフ・チキンなど) セレクトメニュー(チョコ・いちご・キャラメル・チーズケーキ)
	31	年越しそば・盛り合わせ
		第2回嗜好調査
1	1	おせち
	2	握り寿司
	7	七草粥
	9	だんご(餅・ぜんざい・焼肉・豚汁・おにぎり等)
	14	第3回給食委員会
2	2	第4回給食委員会
	3	節分メニュー(恵方巻き・節分豆)
	18	第5回給食委員会
3	3	ひな祭りメニュー(お弁当)

利用者の高齢化、重度化が進む中、利用者や職員の防災の意識を高め、火災や水害等の災害時の対応能力・知識の向上を身に付けると共に管理体制組織の各職員への役割の周知徹底を行って訓練を実施した。

【訓練の実施】

第1回目 日時 平成27年11月25日(水) 13:00～ 所要時間 4分50秒 雨

参加者 利用者:70名 職員:10名

- ① 夜間2名体制時に喫煙所から火災発生を想定
- ② 利用者への避難誘導と通報訓練について訓練を行う

全体の反省

- 避難誘導から点呼まではスムーズに出来たが出火場所がどこで避難ルートを利用者・職員に聞こえるように大きな声で伝えきれていないとの反省があった。
- 避難誘導することに気を取られ初期消火見落としていたのが反省点として挙げられた。
(訓練当日が雨天であったため、避難場所をディルームへ変更)

第2回目 日時 平成28年3月14日(月) 13:40～ 所要時間4分2秒 曇り

参加者 利用者:42名 職員:4名

- ① 夜間2名体制とし喫煙所からの火災を想定。
- ② 利用者への避難誘導と通報訓練について訓練を行う。
- ③ 消火器2本を使用しての消火訓練
- ④ 緊急連絡網の変更により連絡が機能するか否かの訓練を行う。
(20時に実施)

全体の反省

- 前回の反省を活かし、職員間の声掛けを行い出火場所と避難訓練の誘導が的確に出来た。
- 訓練では足元が悪いこともあり、避難場所を駐車場にしたが、運動場が良いとの消防署よりアドバイスを受ける。
- 緊急連絡網による通報訓練は5分以内に全職員への連絡が取れた。

●グループホームくんわ事業報告書

外部サービス利用型共同生活援助事業所

本年度はご利用者の待機者も多くグループホーム1件新設(H27.12月)を行い、定員60名となった。又緊急用受け入れ居室も1室整備し地域貢献に努めることとした。生活についてはご利用者の意見を尊重し個々のニーズに合ったサービスの提供を行い、満足が得られる様な支援を行った。

世話人については、10月より全員、派遣会社からの派遣社員として従事することとした。このことにより世話人格差の是正とサービスの均一化を目指すこととした。

1. 利用状況

・定員数 60名(現員数 52名) 知的障がい 48名 精神障がい 4名

GH名称	定員	現員	男性	女性	療育状況	平均年齢
くんわホーム	9	9	8	1	B2(1)B1(6)A2(2)	44歳
治誠寮	5	4	4		B2(1)B1(2)A2(1)	40歳
第二治誠寮	7	7	7		B2(3)B1(3)A2(1)	52歳
かがやきハイツ	9	7		7	B1(3)A2(3)精(1)	47歳
ひだまり	7	6	3	3	B2(1)B1(3)A2(1)精(1)	53歳
グリーンハウス	5	5	5		B2(4)A2(1)	37歳
コープ赤水	9	8	8		B2(1)B1(3)A2(3)精(1)	48歳
くろかわ	9	6		6	B2(1)B1(4)精(1)	43歳
平均	60	52	35	17		46歳

2. 利用者経済状況

障害年金	障害年金+生保	生保	給与のみ	計
47名	3名	1名	1名	52

3. 新規利用者及び退去者の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規									1	1	1	2	5
退所		1				1		2	1				5

新規利用者は阿蘇くんわの里入所から2名、通所より1名・在宅より1名、病院より1名であった。また退所者は、入院後リハビリ通院の為実家へ1名、高齢65歳にて体力低下等に於いて本人のサービス内容の変更者2名(阿蘇くんわの里入所)、長期入院及び区分変更者2名の方が退居となった。

本人のニーズを聴きながら、日中事業所・相談事業所・各市町村行政機関等と検討会議を行い本人のニーズに沿った支援を行った。

4. 支援内容

- ① 利用者のニーズの把握を充分アセスメントでの聞き取りにて行い個別にあった個別支援計画に沿って支援を行った。又定期的にモニタリングを行い、必要に応じ各行政機関や各事業所と検討会議を行った。
- ② 就労に於いて、日中事業所との連携を図り日中事業への参加を促し働く事で収入を得て、将来的にも豊かな生活が送れる様支援をおこなった。
- ③ 健康管理に於いては、日頃より世話人及び生活指導員がバイタルチェックを行い、サービス管理者に申し送り、日中事業所へ引継、状況に応じ、病院受診、地域検診、健康診断等を行った。又病気の症状に合わせ食事療法・運動療法を行い、万歩計を使用し、歩け歩けグラフを作成し一緒に歩く事で適度な運動に取り込める様世話人と共に連携し支援を行った。服薬に於いては誤薬の無い様、全員の服薬確認を行い支援に当たった。
- ④ 対人関係トラブル等に於いては都度双方の話を聴き調整支援し、共同生活を行う中で協力して生活する大切さを説明・助言支援してきた。
- ⑤ 日常生活に於いては洗濯・掃除・入浴・食事摂取・起床・離床等繰り返しの声掛けを行い対応した。個々に応じて出来ないことに関してはスタッフが行い又、掛け行い対応した。個々に応じて出来ない事に関してはスタッフが行い又、一緒に行う等の支援を行った。
- ⑥ 買物・外出等に於いて希望を聞き、買物・外出支援を行い、将来的に単独で行きたいと希望される方に於いては、交通機関を利用し、時刻表を見て一緒に同行する等の支援を行った。
- ⑦ 地域との連携に於いては各行事やイベント等の案内や参加を呼びかけ地域の方々と交流が深められ地域住民とのコミュニケーションが図れる様支援を行った。
- ⑧ 金銭管理に於いては個々の状況や希望を聴き世話人と共に相談又説明行い収入と支出との兼ね合いが理解出来る様助言し将来的な事も考えて行ける様支援を行った。利用料の滞納や、病院受診代等生活に必要な支払いについての説明を繰り返し助言を行った。
- ⑨ 毎月運営会議、世話人スタッフ会議及び定期的に支援向上委員会を開き、利用者の状況やニーズの把握に努め、サービスの質の向上にあたった。又必要に応じ各担当者、各事業所、市町村、医療機関等と検討会議を行い連携した支援を行った。
- ⑩ 防災等については、昨年セコムセキュリティーシステムを導入し定期的な避難訓練を行い、普段より避難場所や避難経路等の把握に努め、避難食等を準備し災害時に備えた。又本年度は、全グループホームにスプリンクラーを設置し火災発生時の初期消火の強化を行った。

・レクリエーション

各行事等の参加を促し、又利用者の意見を聴きながら、グループホーム全体でのバーベキューイベント・忘年会・旅行等開催し、利用者の満足が得られる様に務めた。

本年度も利用者のニーズに答え希望の多くあった旅行を1泊2日(山口)で2月19・20日に実施

した。旅行に於いては各事業所での旅行を計画的に行っていく予定である。

5. 年間行事活動報告

	GH利用者対象	地域活動・防災・検診等	スタッフ研修等
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・4/17 GH バーベキュー ・4/25 春祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・GHスタッフ会議 ・運営委員会 ・支援向上委員会
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・5/5 ボーリング大会 ・5/5 日吉神社(藤棚見学) 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会 ・GHスタッフ会議 ・支援向上委員会 ・ピネル HP 学習会
6月			<ul style="list-style-type: none"> ・GHスタッフ会議 ・運営委員会 ・支援向上委員会 ・ケース検討会議
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・7/4 きらめき大会 ・7/18 くんわの里 夏祭り 		<ul style="list-style-type: none"> ・GHスタッフ会議
8月	8/14 バーベキュー	<ul style="list-style-type: none"> ・阿蘇市住民健診 	<ul style="list-style-type: none"> ・GH スタッフ会議 ・ケース検討会議
9月			<ul style="list-style-type: none"> ・GHスタッフ会議 ・支援向上委員会 ・運営会議
10月		<ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃・花苗植え ・消防点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・GHスタッフ会議
11月		<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ予防接種 ・避難訓練 ・住民健診 	<ul style="list-style-type: none"> ・GHスタッフ会議
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・12/7 イルミネーション見学 ・12/17GH 忘年会 ・12/18 餅つき大会 		<ul style="list-style-type: none"> ・GHスタッフ会議 ・支援向上委員会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・1/1 正月お節 ・1/9 どんどや 		<ul style="list-style-type: none"> ・GHスタッフ会議 ・支援向上委員会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・2/19,20 1泊2日旅行(山口県) 		<ul style="list-style-type: none"> ・GHスタッフ会議 ・支援向上委員会 ・担当者会議 ・サビ管研修
3月		<ul style="list-style-type: none"> ・高森歯科訪問診療 ・避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・GH スタッフ会議 ・支援向上委員会

6. 防災管理

- ・ 決められた場所での喫煙と火の元の最終確認を世話人会議にて周知徹底を図り、避難場所及び避難誘導経路の確認や各 GH の非常食の確保、整備を行った。くんの里敷地以外のグループホームの避難訓練に於いても非常時等におけるスタッフの連絡網の確認や、夜間を想定し行い、全体での防災意識を高め災害時の対策に備えた。